

2023年3月27日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名	カテーテルアブレーションを用いた僧帽弁輪線状焼灼時の慢性期における再伝導に関する因子についての検討
対 象	2016年1月から2021年3月に兵庫県立尼崎総合医療センターにて僧帽弁輪線状焼灼を含むカテーテルアブレーション治療を受けた持続性心房細動患者さん
研究期間	承認日から2023年7月31日までを予定しています。
研究目的	持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション治療について肺静脈隔離のみでは不十分で、僧帽弁輪線状焼灼を含めた線状焼灼を追加することが有効とされます。しかしながら長期的な僧帽弁輪焼灼部の再伝導率や再伝導に関する因子についての検討は不十分です。そこで当院で僧房弁輪線状焼灼を含めたカテーテルアブレーション治療を受けた持続性心房細動患者様について、初回の治療内容を検討するとともに、そのうち心房細動再発のため2回目の治療を受けた方での僧帽弁輪線状焼灼部位における再伝導率および再伝導に関する因子について検討します。
方 法	診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別等(年齢、性別、BMI、糖尿病の有無、高血圧の有無、心エコー所見、BNP値、カテーテルアブレーション治療内容)があります。研究結果は学会および論文にて公表します。
個人情報	臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。
問い合わせ先	兵庫県立尼崎総合医療センター 循環器内科 〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77 TEL: 06-6480-7000 FAX: 06-6480-7001 研究責任者: 循環器内科 医長 清水友規子